

相模

S A G A M I

www.samukawajinja.jp

初詣

令和五癸卯歳

はじまり
は
ここから

相模國一の宮

方除

寒川神社



陽月

第531号

令和5年1月1日

- 2 令和5年 年頭のご挨拶
- 4 社務報告
- 6 新嘗祭奉納者芳名
- 8 令和4年 篤志奉納者芳名
第55回 菊花写真展入賞者芳名・協賛者芳名
- 10 陽月氏 令和5年 卯歳干支の絵制作にあたって
- 11 迎春ねぶたのご紹介
- 12 郵送祈祷・授与品郵送のご案内
- 14 神恵苑だより・青少年だより
- 15 相模冬の歌・人事
- 16 1月～3月 祭典・行事のご案内



【表紙】

陽月
「癸卯歳」

【題字】

神社本庁 総長
田中恒清

しゅばつ
修祓

神嶽山神苑

3月1日(水)より
開苑予定

神嶽山神苑への入苑は御祈祷
を受けた方に限ります。

神苑内では茶屋「和楽亭」に
て抹茶と和菓子をお楽しみ
いただけます。
(500円より思召し)

神苑で寒川大明神との御神縁をお深めください

※入苑は御祈祷を受けた方に限ります



《石舞台公演》
3月以降の日程はホームページにてお知らせ致
します



《方徳資料館》
寒川大明神の全国唯一の御神徳「八方除」につい
ての資料が展示されています



相模國 一之宮 寒川神社

一、御祭神

寒川比古命(さむかわひこのみこと)
寒川比女命(さむかわひめのみこと)

寒川神社は、寒川比古命・寒川比女命を奉祀申し上げ、二柱の御祭神を寒川大明神と奉称しています。

寒川大明神は、相模國を中心に広く関東地方を御開拓になられ、衣食住など人間生活の根源を開発指導されました関東地方の親神様です。

一、御由緒

当社社の創建は古く、『惣國風土記』には雄略天皇(457～479年)の御代に奉幣があったと記されています。また、『寒川文書』には神龜4年(727年)社殿建立と伝えられ、『続日本後紀』には承和13年(846年)に神階五位下を授けられたと記載されています。さらには醍醐天皇の御代に制定された延喜式においては、相模國唯一の名神大社と定められ、当社社は少なくとも約1600年の歴史を有する古社といえます。

特に古くから唯一の八方除の守護神として、地相・家相・方位・日柄・厄年などに由来する災難をとり除き、福德開運をもたらし、日々の暮らしに限りない恩恵を与えて下さる御神徳は広大無辺です。

この八方除の御神徳は、全国各地より敬仰され寒川大明神を奉戴する崇敬者は年々増加し、篤い信仰を集めています。

一、御神域

神聖なる神嶽山を背に境内は約1万5000坪となっており、緑豊かな樹木に囲まれています。神門・手水舎に続いて、平成9年10月に厳肅の中にも絢爛に輝く銅板葺、絵木曾檜造りの御本殿のほかに幣殿、拝殿、翼殿、廻廊などが完成致しました。
また御本殿の奥庭「神嶽山神苑」は、御社殿御造営10年を記念致しまして、大規模に整備を行い、平成21年に開苑致しました。

Instagram 公式Instagram
samukawa_jinja_official

当神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。
※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください

YouTube 公式チャンネル

当神社の祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。今後も様々な行事の様子を発信していきますので、皆様のチャンネル登録をお願いします。

LINE 公式ラインアカウント

当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。Instagram以外の情報もお送りしていきますので「友だち」登録をお願いします。

公式フェイスブック

当神社の祭事、行事の最新情報を発信しています。公式Instagramとリンクしています。ご一緒にご登録をお願いします。



令和5年癸卯歳 年頭のご挨拶

寒川神社宮司 利根 康教

令和5年癸卯歳の新春を迎えまして、謹んで聖壽の萬歳と御皇室の弥栄を言祝ぎ、国家国民の繁栄と世界の恒久平和を衷心より、祈念申し上げます。また氏子崇敬者の皆様におかれましては、平素より当神社の護持運営に格別なるご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍との付き合いも3年という長い歲月となつて参りましたが、その間においてはウクライナ情勢における世界的な緊張と物流危機に見舞われ、時代の潮流に日本も世界の中心国の一つとして翻弄されております。また、昨年卡タールにて開催されましたサッカーワールドカップにおいては、日本代表選手の躍動はさることながら、このような時局に個人では控えめな日本人が大きなナシヨナリズムに心動かれ、日本国を応援するという老若男女の団結力には本当に驚かされ、日本人の底知れぬ力強さに改めて感動を覚えております。

また現在、コロナ感染の拡大に伴い多くの祭祀が十分に執り行われていない状況ですが、境内を形成しております鎮守の杜という自然と木々の力強さには、いつ見ても変わらない美しさを感じます。境内においては、平成29年12月に三笠宮彬子女王殿下がお手植えされました彬姫櫻（アキヒメザクラ）がございまして、例年3月初旬から小さなつぼみが芽を出して、下旬には美しく開花されています。殿下から賜りました櫻は平成の御代における当神社の宝とも言えるものであります。幾久しく大切に、その成長は多くの参拝者の目に留まりながら、我々神職も日々、心穏やかに見守っております。

また表参道においても多くの樹木がございますが、一の鳥居から神池橋までおよそ一キロ続いており、松や桜が彩りを添えながらも力強く枝を広げております。当神社を昔からお参りされている方は、寒川駅から下車してゆつくりと参道の木々の四季の移り変わりを感じながら、参詣される方も多いように伺っております。その参道は昭和天皇御在位五十一年の記念事業として玉石積や樹木整理の整備事業が行われ昭和52年12月に、現在の参道が竣工致しました。1600年以上続く当神社の景観は、竣工から約50年を経た現在も変わらない美しい参道を維持しております。

話は祭祀の話に戻りますが、本来の祭典というものは、境内清掃に始まり、修祓、祭典、そして直会というの言うまでもなく一連の次第でございます。コロナ禍において、多くの方との直会における飲食と会話が困難な状況となり、氏子崇敬者との関わりが本当に希薄になつており、危惧される状況であります。本年におきましては各祭事において「神人和楽」を標題に今一度、御祭神と氏子崇敬者が時間を共有できる環境作りの再興に努めて参りたいと存じます。

結びとなりますが皆様方におかれましては、コロナ禍の克服とともに当神社の諸祭事への変わらぬご理解とご尽力をいただきますよう何卒、お願い申し上げます。御祭神も皆様方それぞれの笑顔にお会い出来る日を心から楽しみにされていることかと存じます。本年も寒川大明神様の御神徳を余すことなくお受けになられまして、実り多き年となりますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と致します。



寒川神社 社務報告



職員防災訓練



末社宮山神社神幸祭



人形感謝祭



相模塾



神宮大麻暦頒布始奉告祭



新嘗祭



「こよみ展」



末社宮山神社神幸祭



神嘗奉祝祭



相模湘南支部教養研修会



第55回 菊花写真展



煤拂祭

祭典・行事のご報告

- 10月
- 1日 職員防災訓練
 - 2日 末社宮山神社神幸祭
 - 9日 宮山職舎A2号 改築工事上棟祭
 - 10日 参集殿茜の間 改造工事清祓
 - 15日 人形感謝祭
 - 17日 神嘗奉祝祭
 - 21日 相模國式内社の會總會
 - 23日 第2期相模塾第4回講座
 - 25日 参集殿茜の間 改造工事竣功清祓

- 11月
- 3日 明治祭
 - 10・23日 第55回菊花写真展
 - 10・11日 相模湘南支部教養研修会
 - 11日 相模湘南支部 神宮大麻暦頒布始奉告祭
 - 13日 「こよみ展」 (9月16日～11月13日)
 - 23日 新嘗祭

- 12月
- 11日 第2期相模塾第5回講座
 - 14日 煤拂祭
 - 20日 迎春ねぶた設置
 - 31日 師走大祓式並除夜祭 神徳感謝祭
 - 毎月1日・20日 月次祭併せて 新型コロナウイルス感染症 流行鎮静祈願祭
 - 毎日 日供祭に併せて 新型コロナウイルス感染症 流行鎮静祈願祝詞を奏上

職員防災訓練

10月1日、当神社職員を対象とした防災訓練が実施されました。今回は消防設備操作・取扱い方法を学び、その後訓練用の水消火器を使用した消火訓練を行いました。火事を起こさないように日頃の注意も大事ですが、万一が一の事態に備える訓練も必要であり、誰もが迅速に対応できるよう防災意識を高めることができました。

末社宮山神社神幸祭

10月2日、末社宮山神社の神幸祭が執り行われました。昨年に続きコロナ禍での斎行であったため、感染症対策として神輿をトラックに乗せて宮山地

区を巡行しました。

トラックには「祈 世界平和とコロナ終息」「祭りの力で寒川を元気に」の横断幕を掲げ、コロナ禍の早期終息と氏子の皆様の家内安全が祈念されました。来年こそはコロナ禍以前のように神輿を担ぎ、盛大に執り行うことができるよう祈念致します。

相模塾

10月23日に第4回の相模塾が開催され、「祭式作法」として神社祭祀の解説や装束などについて説明が行われ、基本作法や祭典を執り行う上での作法の体験が実施致しました。

12月11日の第5回においては「神社と神道の歴史②」を標題に神社 神道の成

新嘗祭

11月23日に新嘗祭が役員・総代・氏子崇敬者ご参列のもと、厳肅に斎行されました。この祭典は、秋の豊かな稔りに感謝申し上げる祭典で、氏子崇敬者・神社業者・近隣の生産者より丹精込めて作られた新米・野菜・果物・生花など、様々なものが御神前に奉納されました。

祭典終了後、参集殿において神社に多大なご尽力を賜った篤志奉納者として第55回菊花写真展の宮司賞・神社本庁統理賞を受賞された方々の表彰を執り行いました。

※詳細は6～9ページに記載しております

煤拂祭

12月14日、新年を迎えるにあたり、1年の間に積もった塵や埃を拂い清める煤拂祭が斎行されました。祭典終了後は御本殿をはじめ神門・手水舎等すべての建物を拂い清め、注連縄の張り替えなども行われました。

11月11日、神奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が、支部各神社の宮司参列のもと斎行されました。伊勢の神宮より神社本庁、各都道府県の神社庁を通じて、年末までに神宮大麻と神宮暦が全国崇敬者へ頒布されます。神宮大麻は明治5年より全国のご家庭にお頒ちされるようになってから、昨年、150周年を迎えました。皇室の御安泰と国家国民の安寧を祈るという天皇陛下下の「公の祈り」が込められた御神札です。新年を迎えるにあたり、氏神様の御神札とともに神棚にお祀りして、大御神様の御加護をいただきその年の国家隆昌・家内安全をお祈りください。

令和4年

新嘗祭奉納者芳名

（順不同・敬称略）

初穂米・一升米・稲穂・魚
酒・野菜・果物・卵・花・菓子等

相田	相原	青木	(株)赤塚	秋山	秋山	堀之内	菅	阿部	阿部	阿部	天達	荒井	荒井	淡路	淡路	安齋	安藤	井口	伊澤	石井	石井
孝久	善久	誠久	葉紀	明子	正樹	仁	優行	あや子	伊良	榮治	薫子	茂雄	たいこ	利公	悟一	真理	陽子	潤二	駿	正子	忠治
石川	石川	石黒	石黒	石黒	石黒	石腰	石塚	市川	市川	市川	市川	市川	井出	井出	伊東	伊藤	伊藤	伊東	井上	井上	井上
安紀	綾子	清	鉄男	久一	正美	明美	雄司	澄雄	太一	幹雄	宇都宮	大樹	勉	久保	英則	ふみ子	満	朝陽	健一	利枝	詩風
美紀	奈絵	隆男	忠市	井上重機(合同)	厚巳	郁雄	清子	次男	野冬	内田芳徳	宇都宮	大芦	久之	泰明	和隆	玲子	(有)大角塗装工業	光昭	のぶ	大橋ひかる	大橋真理子
小笠原	小笠原	岡本	小河	小川	沖田	落合	小原	笠原とし子	加藤貞雄	加藤佐代	神奈川県神道青年会	金澤	(株)カナリヤ	清田	金子	幸一	隆夫	隆次	共秀	金子	金子
仙丈	英弘	充弘	静雄	康宏	孝宏	孝夫	悦子	恵子	来田	北河	北河	務	務	光男	一男	幸一	隆夫	隆次	武	信夫	昌裕
(株)金子建材土木	金子一茂	亀井勝也	亀山トミ子	河江義行	川添国子	川端偉生	関東建物(株)	木内和美	木内敏幸	木内正幸	水澤	北河津代	北村工務店	北村良寛	北村茂	木村昭夫	木村健治	木村慎次	木村孝行	楠谷稔	國井泰意子
國井	熊澤酒造	汲田晶也	倉石賢太郎	倉橋博之	栗田馨	栗田知一	栗田登	小泉恭子	(有)小河匠	光生	河野亜希子	(株)工房えむま	渡邊林太郎	(株)晃和デイスブレイ	小嶋章治	小嶋龍己	小嶋輝雄	小嶋信男	小嶋宏昭	越村晃一郎・仁美	小菅隆志
小菅千鳥	正悟	後藤進	小林真弓	小林豊	小林由美子	近藤喜一	斎藤健雄	斎藤澄代	齋藤博一	坂上雅俊	さがみ農業協同組合代表理事組台長	寒川地区運営委員会	委員長福岡清	寒川支店	支店長脇利幸	倉見支店	支店長大川浩昭	寒川営業経済センターセクター長内海憲三	坂元裕子	相良昌孝	佐藤亜紀
佐藤昭宏	佐藤哲	佐藤俊哉	佐藤惠理子	佐藤恵子	佐藤眞弓	佐藤敦之	佐藤朝一	佐藤勝	座間仁美	寒川駅前クリニック	(有)寒川建材	寒川神社神一会	寒川町観光協会	寒川町農産物品評会	寒川サンエーサックス	飯塚智	(株)さんこうどう	重留祐介	(株)シテイライフ	中山智之	篠崎真理子
篠原百合子	柴崎徹	渋谷幸宏	下田知世子	下村愛	シャトレレーゼ	湘南ビユーティフルライタル	(株)湘南山鉄	山口利通	白倉綾	白鳥貴	菅原智子	杉崎孝行	杉崎秀男	杉崎保明	杉本めぐみ	杉山直弘	杉山英昭	杉山光弘	杉山陽子	鈴木いまり	鈴木敏之

竹内良晴	竹内秀年	(株)タガワ	高見澤有也香	高橋珠世	高橋三郎	高橋孝太郎	高橋孝輔	高橋恵一	高橋邦禎	高橋清	高橋昭夫	高橋昇	高橋豊	高島麻衣	高島和子	田老広季	田老史江	田老江子	田老佐江子	野中正博	大黒屋	(株)空	曾根利昭	鈴木康元	(株)曾我	先崎昌司	大川哲平	生長園	鈴野成昭	(有)鈴野農機
仲山明良	中村理恵	中野度茂代	中島裕	中島啓介	中島和江	中嶋章	中沢運輸(株)	中川まさみち	中川清一	亀山博	戸塚米店	戸田正幸	常盤賢国	常盤正夫	露木雄介	露木生花	露木武光	都築祐哉	紀元	茅ヶ崎市漁業協同組合	玉腰米吉	玉川貴嗣	田端生産組合	坂元誠一	(有)田中写真	田中洋子	田中陽子	田中裕治	田中宏樹	(株)竹中工務店
福岡誠	深沢良弘	廣中康二	東泰一	日尾政喜	半田昭彦	春山賢三	原田信	(有)原田総合保険事務所	原宏治	ハッピーライフ(株)	長谷川祐崇	長谷川正富	長谷川明夫	蓮實亘司	蓮見明子	蓮見修一	萩原進	野地浩一	野地	野田美佳	柿原範匡	のぞみ針灸整骨院	能條隆	根本剛	根岸農園	根岸茂和	根岸馨	日本精麦(株)	生麦運送(有)	中山恵
松岡留美子	Matsuiya International (株)	松井里沙	松井久美子	松井行正	舩水隆一	前田希子	堀米恵子	堀米恵子	細井せつ子	(株)豊和石油	豊月堂	(株)豊榮金属	部谷燈琉	部谷千明	部谷準人	古山大二	(有)古山看板塗装	古谷喜洋	二見ミツ子	藤澤靖典	藤澤英幸	藤井小百合	藤井佳子	藤井薫	藤井彰	藤井明男	藤井陽子	福室幸子	福田園	福岡
宮治克巳	宮崎省三	宮川晴聖	宮川真輝	宮川彩子	三村まさ子	三原京子	三原昭彦	三原賢宏	皆川米男	皆川藤江	皆川常明	皆川清藏	皆川憲治	皆川欽一	三留清一	三留豊正	三留和彦	水谷稔	三澤伸喜	三上綾子	萬藏丸	丸高工業(株)	有泉誠一	(株)丸井紙店	眞原浩	(株)眞原電工	松本學	(有)松尾通信	(有)松尾通信	(有)松尾通信
山岸泉琳	(株)山上建設	谷澤正勝	谷口秀則	森住政子	森下健二	森賢治	百崎製菓(株)	本山愛	茂木恵子	望月美由紀	村田八千雄	村田商事(株)	村田富雄	村田一美	及川栄吉	下地区	上地区	宮山根岸町内会	宮山総代	組合長井出一浩	宮山生産組合	会長大木重雄	宮山神輿愛好会	宮山公一	宮本譲	宮田由美	宮田智世	宮島弘之	宮島昭義	
					渡邊奈津季	渡邊修子	渡邊文亮	脇林文亮	若林美代子	若林美代子	マネジメント	(株)レンブラントホテル	龍木加代子	與安義道	吉田信雄	吉田宜生	吉川篤義	横浜貨物総合(株)	寿はぎの集まり	要覚貴史	結城航星	山西洋輔	山梨由紀子	山田亮太	山田素子	山田克支	山本末	山口創	山口昭義	



令和4年 篤志奉納者芳名 (順不同・敬称略)

増田 宣代
篠原 吉道
横浜貨物綜合(株)
代表取締役社長 佐藤 俊哉
山創 本末 克支

新嘗祭式典において、当社社への多大なご尽力をいただきました篤志の方々への表彰式を厳粛に執り行いました。また第55回菊花写真展においては、県内の10団体の菊花会によって、約250点の色とりどりの菊花が出品・奉納されました。写真展においても神社の四季の風景とともに祭典・行事などの貴重な瞬間を逃さずに撮影した186点の作品が出品されました。尚、菊花写真展の上位入選者の方々におかれましては、式典においてその栄誉を讃えて表彰を行いました。

第55回 菊花展入賞者 (敬称略)

審査長 遠藤 吉和
副審査長 高橋 正夫

宮司 賞

厚物の部 土屋 和民



盆用仕立て厚物品種より、花名「太平の銀峰」という白色の花を選びました。ここ数年は宮司賞常連の花で皆様方には親しまれて愛培されております。盆用仕立てにおいても花の見やすい目の高さに育てられていて、後半の追込みも無理なく行われ、三花揃った花容は素晴らしく、また弁組と花芯がまとまり、多少若く最後まで花容はくずれずに皆様に見ていただけたと思います。副審査長と合議し決定致しました。

神社本庁統理賞

間管の部

大貫 明



盆用仕立て間管の部より、花名「開竜秋峰」という黄色の花を選びました。この花は開竜堂(東京都千代田区神田)で平成11年に誕生した花です。管の太さに合った玉巻で輪径も大きく、花弁の伸びと色彩においても濃い黄色で申し分なく、肥料調整もよく、久しぶりに立派な開竜秋峰に出会いました。盆用の高さももう少し高ければ、なお素晴らしい盆用になったと思います。副審査長と合議し決定致しました。

厚物の部

金賞 小峰 勝子
銀賞 松原不二男
銅賞 松原不二男

厚走の部

金賞 遠藤 朋章
銀賞 伊藤 勉
銅賞 原 則夫
寒川町議会議長賞 安西 昭夫
三昭グループ/中華一番/嵐坊賞 山田 豊
ジェイコム湘南・神奈川賞 原 則夫
読売Palette賞 柳澤 芳夫

太管の部

金賞 後藤 勤
銀賞 吉原 鐵夫

銅賞 田中 昇
寒川町観光協会賞 岡 照男
湘南信用金庫寒川支店賞 山田 豊
三昭グループ/中華一番/嵐坊賞 荒井 秀三
ジェイコム湘南・神奈川賞 宗像 洋

間管の部

金賞 藤岡 清久
銀賞 荒井 秀三
銅賞 三橋 太一
寒川町商工会会長賞 安池 春敏
横浜銀行茅ヶ崎支店賞 福岡 堅
ジェイコム湘南・神奈川賞 福岡 昭夫
読売Palette賞 福岡 堅
NACK5賞 小室 久次
大貫 久男

細管の部

金賞 清田 美躬
銀賞 三橋 重夫
銅賞 藤岡 清久
日本郵便(株)寒川郵便局長賞 山田 豊

補助の部

金賞 清田 美躬
銀賞 清田 美躬
銅賞 菅 利
入選 小室 久次
小室 久次
関場 清利

だるまの部

金賞 清田 美躬
銀賞 清田 美躬
銅賞 小峰 勝子
入選 矢野 幸次
田中 昇
菅 利

第55回 写真展入賞者 (敬称略)

審査長 丹治 俊雄

宮司 賞

「雪の初詣」



小夜の神門、フレームいっぱい雪が「雪の花」のように写り、深閑な雰囲気広がっています。神門にはライトアップされた風神雷神のねぶたが浮かび上がり、石畳にはキラキラと黄色とオレンジ色が写り輝き、右側の狛犬とその後ろの樹木の積雪がまるで花が咲いているかのように見える構図は完璧です。また、傘を差して初詣に向かうお子さんが、神門の方へかけていく様子と空の色の雰囲気とフレームの奥行き、動きを感じ取れます。画角の広いレンズを使用して撮影する過程には、写真テクニクの投入と努力があります。お見事です。

神社本庁統理賞

「無病息災・本殿に一礼」



茅の輪をくぐり終えて、境内の御本殿に神職さん先頭に子供たちと参拝をしていて、ほのぼのと可愛らしい光景が目飛び込んできます。まさにナイスキャッチです。また右には「渾天儀」の龍が左サイドからの光により浮かび上がり、力強く観えます。フレームの位置関係と周囲の環境の様子をファインダーのちの姿を写し捉えているグットシャッタータイミングは実にお見事です。

菊花奉納者芳名 (順不同・敬称略)

七本立の部

審査長賞 小峰 勝子
寒川ライオンズクラブ会長賞 関場 清
湘南信用金庫寒川支店賞 山田 豊
ジェイコム湘南・神奈川賞 安西 昭夫

菊花展審査長 遠藤 吉和

寒川町菊花会 松原不二男/石黒 清

茅ヶ崎茅秋会 柿澤 昌明/小川 弘

平塚菊花会 大出 進

藤沢菊花会 吉原 鐵夫/柳澤 芳夫

綾瀬菊花会 笠間 潔/黒崎 勝

大和秋香会 関場 清/小林 一三

厚木秋華会 荒井 秀三/三橋 重夫

伊勢原秋豊会 井口 龜夫/岡 照男

梶 俊一/梶 堯子

小澤 厚子/倉持 武

田中 昇/田中 伸三

平川 光則

第55回 菊花写真展

協賛者芳名 (順不同・敬称略)

神社本庁統理
寒川町長
寒川町議会議長
寒川町教育長
茅ヶ崎市長
寒川町商工会
寒川町観光協会
日本郵便(株)寒川郵便局長
さがみ農協寒川地区
寒川ロータリークラブ
寒川ライオンズクラブ
横浜銀行茅ヶ崎支店
横浜銀行寒川支店
湘南信用金庫寒川支店
三昭グループ/中華一番/嵐坊
(株)三昭ツリスト
熊澤酒造(株)
(株)ジェイコム湘南・神奈川
(株)読売Palette
(株)ニッポン放送
横浜エフエム放送(株)
(株)エフエムNACK5
(株)ベイエフエム
(有)田中写真



令和5年 迎春ねぶた

瓊瓊杵尊と木花咲耶姫

《ねぶたの規格》
 横幅:9.0m 高さ:2.7m 奥行:1.7m
 LED電球500個使用
 ◇2月23日まで設置◇
 ◇日没から午後10時まで点灯◇
 ※三が日は常時点灯



寒川神社の正月の風物詩であります迎春ねぶたは、本年度23回目を迎えました。第1回から第12回までは「干支」を題材に、第13回からは古事記や日本書紀などの「神話」を題材に制作しています。

令和5年の迎春ねぶたは、瓊瓊杵尊と木花咲耶姫を題材としました。瓊瓊杵尊は国家安泰と五穀豊穰の神様として、また木花咲耶姫は櫻の花の咲き誇るような美しさと共に、3人の御子（火照命、火須勢理命、火遠理命）を火の中の産屋でご出産された安産と子授けの神様です。中央のお子様は後の神武天皇の祖父にあたる火遠理命を描いています。

今回のねぶたは日本に暮らす日本国民の未来を表現しており、不安定な世界情勢への平和祈念とコロナ禍の終息を祈願して制作致しました。寒川大明神の八方除の御神徳と御加護をお受けいただき、皆様方にとりまして令和5年が穏やかな年となりますよう、衷心より祈念致します。

北村春一氏
 青森ねぶた師
 昭和56年生まれ:ねぶた祭において知事賞等受賞
 『瓊瓊杵尊は、天照大御神より授かりました三種の神器である八咫鏡・八坂瓊曲玉・草薙剣を携えています。三種の神器は皇位の象徴として継承されているように、ねぶたの技と精神を受け継ぎ、私もまた弟子や未来を担う子供たちに継承するべく日々研鑽してまいります。本作品は家族の絆をテーマに、神々がこの世を祝福しているかのような姿にすることで、令和5年が皆様方にとりまして幸福でありますよう祈念して制作致しました。』



奉灯協賛者芳名（順不同・敬称略）

- 東映通信工業(株) (有)東映マシヨン
- 一政水産(株)
- 横浜貨物総合(株)
- 柴崎徹・柴崎久恵
- 日本ロードマーク(株)
- 鶴嶋孝司・間野隆司
- 森川栄介
- (株)竹中工務店 横浜支店
- 柏川昌和
- (医)芳晴会
- 愛児レディースクリニック
- (株)長谷川製作所
- (有)及川工業
- (有)今井
- (株)丸井紙店
- (株)秋江
- (株)阿部
- (株)晃和ディスプレイ
- (株)北岡本店
- (株)豊榮金属
- 阿部和彦
- 田中雄二
- (株)T日コーポレーション
- (株)テクノス三和
- (株)タカトプランナー
- 石窯ガーデンテラス
- (株)ジェイコム湘南・神奈川
- 熊澤酒造(株)
- 加藤俊二・加藤芳恵
- (株)湘南スタイル工房
- (株)シテイライフ
- フジシロリサイクル
- 長谷島征次
- (株)金子建材土木
- (株)副島架設
- (株)エモアホーム
- TNKグループ 田中組
- 寒川ごとう眼科
- (株)サイファーム
- 匿名

平成27年 乙未歳



平成28年 丙申歳



平成29年 丁酉歳



平成30年 戊戌歳



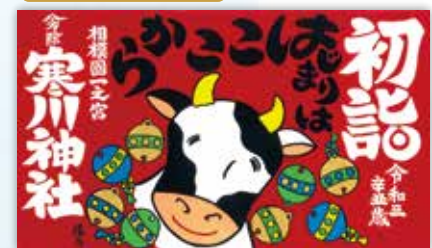
平成31年 己亥歳



令和2年 庚子歳



令和3年 辛丑歳



令和4年 壬寅歳



令和5年 卯歳干支の絵 制作にあたって

干支の絵は、平成27年より始めて本年度で9回目となり、例年、作画を陽月さんに描いていただいています。作風は当神社の初詣をかわいらしく彩り、また多くの参拝者を笑顔で出迎える大切な要素となっています。近年ではお正月の特別御朱印にも使われ、当神社から笑顔溢れる幸せな雰囲気広がっています。尚、本ポスターは近隣の鉄道や駅、バス車内、店舗に年末から1月上旬にかけて掲示されています。

〈陽月さんからのご挨拶〉

寒川神社様の干支の絵の作画も今年であっという間に9年目となりました。この御神縁を毎年、有難く感じています。

本年の干支は「卯歳」です。ご覧の通りの可愛らしい笑顔の作品となりましたが、いつも私が描く際に大切にしていることが2つあります。1つ目は干支の動物たちの笑顔と、もう1つは来たる1年が平穏無事に、また健康に過ごせたらいいな、と願いながら描くことです。もし動物たちが笑ったらどんな笑顔なのだろうと想像しながら楽しく描いています。

干支の絵からご参拝の皆様がほっこりと、あたたかく、やさしさを感じていただけたら嬉しいです。今年も心を込めて描きました。令和5年が笑顔で「無事」な1年となりますことを祈っております。



ようづつ
陽月さんご紹介

書家、絵馬作家として、個展活動とともに企業や神社等のポストカード、ポスター、カレンダー、絵馬などを手掛けています。

授与品(神札、御守)の郵送のご案内

申込方法は下記要綱にてご確認ください。なお、お電話でのお申し込みは行っておりませんのでご了承ください。
 ※正月縁起物は郵送のご対応をしておりませんのでご了承ください。
 ※1月、2月はお申込みが多いため、申込用紙到着後、10日前後のお時間をいただいております。

申込方法

◇右記の「郵送用授与品申込用紙」を記入

申込日(お送りになる日)・氏名・お届け先・連絡先を明記の上、お受けになりたい神札・御守の数量と初穂料の小計・合計(送料含む)を記入してください

例:「幸運を呼ぶ御守」の黄(カード型)1体と白(袋型)2体の場合

幸運を呼ぶ御守 黄(カード)	1	1,000	1,000
幸運を呼ぶ御守 白(袋)	2	1,000	2,000

※色等のお間違いがないようご注意ください

◇現金書留で送付

現金書留封筒に①「郵送用授与品申込用紙」、②「初穂料合計」、③「送料(全国一律500円)」を同封して下記までお送りください

送付先 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916 寒川神社 授与品 担当



八方除大麻
初穂料 1,000円



神社大麻
初穂料 1,000円



八方除 幸福を呼ぶお守り(袋型、カード型)各5色
初穂料 各1,000円



厄難除氣守(3色)
初穂料 各500円



十二支守
初穂料 各500円



大祓守
初穂料 1,000円

当神社へお越しいただける授与もお待ちしております

【お問合せ】寒川神社 ☎0467-75-0004(代) 8:30~17:00

郵送による御祈祷のご案内

当神社では参拝が叶わない方のために、郵送による御祈祷を行っております。申込方法は下記要綱にてご確認ください。なお、お電話でのお申し込みは行っておりませんのでご了承ください。
 ※1月、2月はお申込みが多いため、御祈祷のご依頼が確認でき次第、10日前後のお時間をいただいております。

◆ ホームページ上においても郵送祈祷の申込が可能です ◆

御祈願内容の記入

お手持ちの便箋・コピー用紙等へ記入

【記入項目】※⑤⑥は下記を参照ください

- ①現住所(含郵便番号) ②氏名(ふりがな)
- ③生年月日 ④電話番号
- ⑤お願い事 ⑥御祈願料および郵送料

※上記全ての情報を必ずご記入ください
 ※神札送付先が異なる場合は送付先を明記願います
 ※神札にお名前をお書きしますので楷書にて明確にご記入願います

御祈願料および郵送料の納入方法

現金

払込／振込

※払込／振込の場合は「御祈願料」および「郵送料」を事前に納入してください

[払込]
郵便局

[振込]
銀行／ゆうちょダイレクト

《口座番号》
00280-9-82500
《加入者名》
寒川神社 郵送祈祷

《銀行名・店名》ゆうちょ銀行 029店
《種 目》当座預金
《口 座 番 号》0082500
《名 義》寒川神社 郵送祈祷

※「依頼人欄」に住所・氏名・電話番号を必ずご記入ください

送付物

◆御祈願内容を記入した用紙
◇御祈願料および郵送料

◆御祈願内容を記入した用紙
◇払込／振込が確認できるもの
例)利用明細書・払込受領証 例)振込完了のページ【ネットバンキングの場合】

送付

現金書留

※通常の封書ではなく、必ず現金書留で送付してください

手紙

FAX

送付先

〒253-0195
神奈川県高座郡寒川町宮山3916
寒川神社郵送祈祷 係

0467-75-9595
(郵送祈祷専用回線)

【ホームページから申込時のお願い】

- ① 郵便局からの振込
- ② 「ゆうちょダイレクト」からの振込

上記の方法で振込をされた方だけのサービスとなっています。
 ※オンライン決済は対応しておりません

【お問合せ】寒川神社郵送祈祷係
 ☎0467-75-0004(代) 8:30~17:00

ホームページ

「参拝・御祈祷」のページ

「オンラインによる御祈祷の申込」

①祈願料の計算

②祈願者情報の入力

③祈願内容の入力

④振込を証明できる物(確認画面)の添付
 ※郵便局の領収証、振込完了画像など

⑤申込の完了

申込完了通知の自動メールが送信されます

食事提供について

管理栄養士 石井 麻由美

今回は施設の献立や栄養管理についてご紹介させていただきます。当苑の栄養士の職員は、管理栄養士・栄養士・調理師・盛り込み担当がそれぞれ配置され、全職員に毎月、衛生管理教育を実施して、厨房内の日々の衛生管理と食材の仕入れを行い、入苑者様に安心・安全・嗜好に合った食事提供と栄養管理を行っています。

近年、季節に応じた食事内容を展開しており、いくつかの事例をご紹介します。お正月の三が日は特別食として、元日の献立は、朝食（赤飯・野菜碗・おせち盛り合わせ・なます牛乳）、昼食（ご飯・刺身・かぶの海老そばろあんかけ・果物・かき玉汁）、夕食（ご飯・ロールキャベツ・ピーナツ和え、味噌汁）を提供し、夏季においては冷麺（冷やし中華・そうめん）、毎週の昼食時は選択メニューA定食（ラーメン・うどん・そば・やきそば等）、B定食（肉類・魚類）を選んでいただきます。誕生日会には刺身、鰻なども取り入れており、入苑者様は大変喜ばれています。

食事の提供は、施設長の鳴海医師の指示のもと、管理栄養士・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・薬剤師と共に連携して1つのチームとして、支援しています。また「自分の口から食べる喜び」として、歯科医師とも連携して

定期的な指導により、安全に経口維持ができるように取り組んでおり、誤嚥や肺炎予防へと口腔ケアも強化しています。入苑者様の個々の摂取状況の把握・食形態への対応、見た目・風味・味付けなどの配慮やテーブルとスプーンの形状の食事環境と摂取ペースなども考慮して、栄養ケアマネジメントに取り組んでいます。また、入苑者様が「在宅復帰」される場合には、事前にご家族様に栄養指導を行い、食事内容・食形態・作り方などご家族様のお考えも伺いながら、栄養の大切さを提案しています。

当苑は楽しみや生きがいのある生活を取り戻す事を目的として支援しています。これからの生活の方向性を経験ある職員がサポートを行い、希望のもてる毎日へと支援致しますので、多くの皆様のご利用を是非お待ちしております。



神恵苑だより

施設見学をご希望の方は下記の電話番号まで、お問合せください。

宗教法人 寒川神社 介護老人保健施設 神恵苑

電話 0467(75)8677 開苑時間 平日9:00～16:00

相談窓口

寒川俳壇



相模冬の歌

相模詠草



田の神に一礼をして稲を刈る
コンバイン稲穂の波に乗り込めり
読み終えて外す葉や夜の炬燵
里芋や使い古しの落し蓋
短日や豆煮る鍋のひとり言
自選句に迷い深まる寒さかな
おでん酒ちよいと出てくる国訛
身に沁みる介護話や秋灯下
夕月や一音欠けしオルゴール
我なりの小さき幸せ花ハツ手
穏やかな陽に包まれて茶花咲く
その昔石榴のような恋をした
母方の在所茶の花ふくらあり
百舌の声葉のなき森をつき抜ける
柿二つウズのあるほう甘味あり
気ばらずに気ままに八十路秋深む

金子 つち
菅沼 保幸
松本美智子
宮入 つる
倉谷 節子
根岸 君子
竹村真砂美
菅沼うめの
伊藤 公一
新井 泰春
須田 柚川
猿渡 弥生
岩田美代子
金子 晴子
四ツ車梢月
石原美枝子

次々に孫たち自立家を出る娘と二人心ぼっかり
夕焼けに浮き出る富士の美しさ一人たたずみぼうつと眺む
五十年を庭に生いいし柿の木を伐採するも鳥ら訪い来る
筆取れば思い乱れて旅の宿出雲の空に十六夜の月
雀達落ち穂めざして田んぼへと親子の雀我が庭にはこず
晩秋の窓ぎわの日ざし温かく穏やかに過ぎ午後のひととき
豊岡の郷に羽ばたくコウノトリ幸せ運ぶ夢をはぐくむ
小田原ゆ寒川町に転籍しこの地に根をはり生きむと思う
友作るゆで落花生味が良し麻雀休憩おしゃべり弾む
刻々と変わりゆく曇夕ぐれの茜に染まるに魅せられおり
はらり落つ秋海棠の終の花朝つゆふふむを吾はいとほしむ

稲垣 武子
亀山 文子
小林 篤子
清水 洋一
土屋トミ子
徳江 道子
二宮 昭雄
平野 良三
宮治友美枝
山根喜美代
杉本 照世

【寒川俳壇】
・昭和24年に誕生。（大正時代から不定期に開かれていた）
・月例会を月4回開き総互選をし、選句技術の向上と俳句の普及に努めている。当神社の例祭神賑行事にも献句として奉納。

【相模詠草】
・野ばら文化会（前身、婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生）による詠草。公民館まつり短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで、生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

青少年だより

寒川神社少年館 ボーイスカウト寒川第二団

寒川神社少年館は、10月22日に秋の遠足を実施し、宮ヶ瀬ダムの見学と県立あいかわ公園へ行きました。ダムの建設に使用されたインクラインに乘車して、水とエネルギー館ではダムに関するお話を伺いました。昼食の後、アスレチックで体を動かし、久しぶりの秋の遠足を楽しみました。11月26・27日の2日間は、発館45周年特別記念の文化祭を開催し、書道・美術講座の体験コーナーと各講座の作品展示、普段の講座の様子の映像紹介、また今回は発館45周年記念展示を設けました。27日には神奈川県神社庁教化委員会の語り部による「親子で親しむ日本神話」の上演があり、思い出に残る文化祭となりました。12月25日には、正月注連縄飾り製作を行ない、令和4年の全ての行事を終えました。

ボーイスカウト寒川第二団は、ボーイ隊が10月8日から10日の2泊3日で千葉県のだねきファームキャンプ場で秋季キャンプを実施し、2日目にはキャンプ地から上総一之宮の玉前神社まで20kmハイクに挑戦しました。10月9日にはスカウトを始め団関係者により、神饌田の稲刈りが行われました。ベンチャー隊では10月16日にクライミングに、また11月6日には平塚の湘南平までナイトハイクを実施しました。カブ隊は11月27日に愛甲郡愛川町の中津川において親子でフィッシング、12月4日には新企画の親子でボウリング大会を開催して、1年間の活動を活発に締めくくりました。



お知らせ(1月1日現在の予定を掲載しております)
2月3日の節分祭は新型コロナウイルス感染防止のため、櫓での豆撒きはありません。当日は午前11時と午後2時に年男年女により、福豆(くじ入り)をお配りします。
※福豆の数には限りがございますのでご了承ください

1月 睦月

1日	午前0時	八方除祭
	引き続き	元旦祈願祭
	午前6時	歳旦祭
	引き続き	末社歳旦祭
2日	午後8時	追儼祭
3日	午前8時	元始祭
8日	午前10時	武佐弓祭

2月 如月

3日	午前11時・午後2時	節分祭
11日	午前10時	紀元祭並顕彰奉告祭 顕彰式
17日	午前10時	祈年祭並田打舞神事
23日	午前10時	天長祭

3月 弥生

21日	午前10時	安藤由勝大人命 伊集院直彦大人命 他命等の慰霊祭
	午後1時	末社御祖神社 春季霊祭並合祀祭
	午後2時	宮山役員改選奉告祭

毎月1日・20日
午前8時30分 月次祭(1月1日除く)



武佐弓祭



追儼祭

➡天長祭 2月23日

今上陛下の御生誕の日を氏子崇敬者とともにお祝いし、皇室の弥栄を祈念します。



➡紀元祭並顕彰奉告祭 2月11日

日本国の建国を奉祝して、皇室国家の弥栄と氏子崇敬者の発展を祈ります。



➡杉姫櫻

平成29年12月に三笠宮彬子女王殿下によってお手植えされた「杉姫櫻」は、例年3月中旬から後半頃に開花が見込まれます。



➡祈年祭並田打舞神事 2月17日

五穀豊穡と産業振興を祈る春祭です。神職と社人が翁の面を被り、田を耕し、種子を蒔く所作をしながら神楽歌を謡い、豊年を祈ります。

寒川神社・寒川神社参集殿

「初詣」に関する新型コロナウイルス感染症防止対策の取り組みについて

当神社では、令和5年初詣に関しまして、皆様の健康と安全を考慮し、下記の対応を実施して参ります。

正月三が日・1月・2月の土曜日・日曜日・祝祭日・六曜の大安の日に関しましては、例年大変混雑しており、ご参拝の方それぞれがご自身の体調管理に十分ご注意ください、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

※ご参拝の際には改めてホームページをご確認願います

◆寒川神社 境内における対応◆

- ・お参りは、滞在時間を少なくしていただきますようお願い致します
- ・境内での**飲食、食べ歩き等の行為は感染症の拡大防止の観点よりご遠慮願います**
- ・境内各所窓口にアクリル板を設置し、飛沫防止対策を実施しております
- ・境内各所への消毒液の設置、不特定多数の方が触れる物への消毒の徹底をしております
- ・授与所は通常通りの対応をしておりますので、事前にホームページをご覧の上、お越しください
- ・御朱印は書置きにて対応しております

◆寒川神社 御祈禱の対応◆

- ・御祈禱申込所の入口にて**非接触型体温計**にて検温致しますので、ご協力ください
※発熱、軽度の咳、咽頭痛、倦怠感等の症状がある方は、**御祈禱をご遠慮いただく場合がございます**のでご了承願います

- ・控室には空気清浄機を設置し、換気を行っております
- ・控室では湯茶接遇は行わず、御祈禱時の格衣(白いお召し物)の着用もいたっておりません
- ・御祈禱を受けられる方の人数制限を行い、参拝者同士の接触を避けられるように案内人数を制限しております
- ・**現在、ご参列の方の玉串の授受(玉串拝礼)は行いません。当神社での御祈禱は、お1人ずつに玉串をお渡ししてご拝礼いただくことを本義として参りましたが、感染症の危険性と参拝者の健康と安全を考慮した対応としてご理解いただきたくお願い申し上げます**
- ・郵送による御祈禱を承っております
- ・御神札を御神前に上げらずにお持ち帰りいただく方法を承っております

◆寒川神社、寒川神社参集殿 職員の対応◆

- ・マスク着用にて対応しております
- ・事務所内にも消毒液を設置して、消毒の徹底をしております
- ・出社前の検温を徹底し、感染が疑われる症状の職員に関しては出勤を控えております

◆寒川神社参集殿 全体の対応◆

- ・参集殿正面玄関にサーマルカメラを設置して入館者の検温を行っております
- ・入場口の制限、混雑時には宴会場を開放するなどの3密防止対策を行っております
- ・不特定多数の方が触れるドアノブやエレベーターボタンなどは適宜に消毒を行っております
- ・各フロアに消毒液を設置し、飛沫防止のため受付に仕切りを設置しております

◆寒川神社参集殿 宴会場の対応◆

- ・規模や人数などを考慮した会場の確保、時間帯別フロア貸しや全館貸し切りにするなどの対応を行っております
- ・会場内のテーブルでは、適度な間隔が確保できるよう椅子を配置し、飛沫防止のためのアクリル板を設置しております
- ・料理の提供は個人盛りとし、**テイクアウトの料理も**ご用意しております

1月～3月

寒川神社

祭典・行事のご案内

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。
数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。
※本年より祭事の木札となります。



相模冬の歌

少年館こども俳句

とんぼとぶ かぜといっしょに ながれてく
いがいがの とげの中には あまいくり 赤間 柊仁
おちぐりや 道ばたいっぱい 手にいっぱい 青島 ころ
さつまいも みんなで掘ろう でつかいの 山下 紗輝
火花がね 空から降りて 彼岸花 櫻井 暁介
ベランダに 秋の夕暮れ ともされる 後藤 修斗
阪井 颯杜



50th sonsyuden

新規契約! フォト・ビデオ撮影会社

寒川神社が持っているポテンシャルを形にして、
幅広いお客様のニーズに対応してまいります。

50th sonsyuden

寒川神社 参集殿

様々なシーンでご利用いただけます

ご予約・お問合せ
0467-75-5555

祝祭日には国旗を掲げましょう

八方除
相模國一之宮
寒川神社

JR相模線「宮山駅」より徒歩5分、圏央道「寒川北インター」より1km
次号『相模532号』は令和5年4月1日に発行します

公式 インスタグラム

Youtube 公式チャンネル

公式ライン アカウント

寒川神社 ホームページ

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年とは皆様方にとりましてどのような年でしたか。人生は長いようで、気が付けばあっという間です。毎日が同じように感じる方がいましたら、今一度立ち止まり、その日その日を大切に過ごして下さい。社報『相模』は令和5年においては、発行からあつという間で55年目となり、還暦まであと5年です。(俊)